

行仙宿モノレールの延伸工事開始と行仙宿小屋の煙突改修

◇実施日 10月13日(金) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、松本吉殖、畑林秀味 4名
カマハラテック 東海、北郡、東、清水 4名

10月10日(火)カマハラテックの東海君から電話があり、明日10月12日からモノレールの工事を始める。4人で開始するとのことだった。翌11日に再び電話があり、今日行仙宿登山口に工事資材をデポしてきた。工事開始が一日延びて10月13日(金)になった。との連絡があった。



登山口の資材

レールの付け替え

工事の開始に当たってはルート取りや場所の確認などのお願

もあり、13日に梶野君と二人で立ち会うことにした。そんな時に畑林君から「行仙宿小屋の煙突に児嶋さんが作った笠を取り付けたい。近々行仙宿に行く予定はあるか？」と電話があり、13日に同行することになった。

当日午前9時前に登山口に着く。モノレールは上に上がっていて、林道脇にはレールや支柱、ジョイントなどの資材が大量に置かれていた。レールは一本が5m程ありそうなので、250mの延長では50本必要になる。

久しぶりにザックを背にモノレール終点を目指す。終点にはレール20本位と発電機や大型のドリルや電動ハンマーなどが荷揚げされ、今まで終点だったレールが上方に付け替えられ、3本目のレール設置中だった。



補給路脇を広げる

煙突で作業中

4人が一列になり工事を進めている。先頭の東海君がレールのルートを決め2番目の北郡君がつなぎ目を固定、東、清水君が支柱を取

り付けていく。それぞれが役割分担しての流れ作業で、無駄が殆ど無い。

松本、畑林のお二人には先に行仙宿行ってもらい、沖崎、梶野は仕事を暫く見学の後、終点予定地の整備に向かった。

前回、終点予定地を21番鉄塔横としたが、補給路から3mほど上になり、荷物の積み下ろしに若干の不安があるので、補給路沿いで高低差の無い場所を終点にすることを考えた。

斜木や倒木を処理して補給路脇に終点候補地を確保したが、広さにちよつと問題もあるので再度検討したい。

この間、30mほどの整備に1時間強頑張つて、お昼前、行仙宿に着いた。



外気温は17℃



行仙宿の水場



本日の参加者

昼食後、梶野君は水場の点検に、沖崎はマキの補充や小屋内整理など、松本君、畑林君は屋根に上がってブロワーで枯葉掃除や煙突に笠取り付けなどの作業を行なう。

午後1時50分、下山開始。工事現場まで降りると、崩れて何度か補修した個所までレールが延びていた。ここだけが岩盤なので支柱の打ち込みにドリルの穴あけが必要になってくる。穴あけ作業中だったが、深さは20cm位で、一つの穴あけに1分近くかかっていた。今までの終点からここ迄は60m位あるだろうか。この調子で行くと今日はあと10m位進むのではと思われ、3日間で完工する気配である。



岩に穴あけ中

補給路にレール敷設

登山道の変更が必要

次回の作業は来週の木曜日(19日)です。とのことで、皆さんが次に行仙宿を訪れるときにはモノレール延伸が完成しているかもしれない。(記:沖崎)

行動タイム

08:50 補給路登山口↓09:27 モノレール終点↓11:40 行仙宿13:50→14:15 モノレール終点↓14:33 補給路登山口